

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森 戸 卓 也 香
編集人 森 松 浦 明 日 香
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2026/3-15

No. 2136

・第39回学校給食を考える集い
・人権教育ひょうご春季学習会
・第17回青年事務実践講座

働き方改革や組織の拡大・強化にむけて 兵教組第157回定期大会



年度末・年度当初の当面する運動の展開を決定

3月2日、ラッセホールで兵教組第157回定期大会を開催した。

25年度の運動の総括と、年度末・年度当初の当面する運動の展開、26年度兵教組役員等について、決定・信任された。

25年度の経過等が報告され、協議事項が提案された。会場からの質疑・討論では、教育研究活動や定数改善、政策・制度要求実現、組織の拡大・強化、専門部の課題解決にむけたとりくみ等について発言があった。

25年度の運動の総括と当面する運動の展開等、協議事項について可決決定され、今後のとりくみについて意思統一がはかられた。また、兵教組・地区専従役員等の改選がおこなわれ、全員が信任された。あわせて、教育研究専門委員(嘱託)および、地区独自専従役員も承認された。



森戸中央執行委員長 あいさつ(要旨)

森戸委員長は討議に供する素材として、次の4点について述べた。



子どもを取り巻く状況

24年度文科省調査では、不登校の子どもの数が小・中学校で12年連続増加し、

場を送るな!」のローカルなものと、平和へのとりくみをすすめていく。一方で働き方改革については、4月1日からどうなるのか、未配置の問題は解消されるのかと、不安を抱えている方も多いと思う。私たちは、給特法の廃止または抜本的見直しの旗を上げるつもりはない。あわせて4月から業務量管理・健康確保措置がスタートする中、12月におこなったWeb調査で、学校現場の勤務記録が正確に記録されていない実態が浮き彫りになった。まず正確な勤務記録をつけることが働き方改革の第一歩であり、管理職も含めて徹底にむけ強化していく。また、予算審議が遅れる中でも、中学校の35人学級に係る義務標準法改正や、高校授業料無償化、学校給食費無償化に係る予算措置について、自治体や現場が混乱しないよう意見反映にとりくむ。さらに、不登校やいじめの認知件数、子どもの命や人権に関わる課題、学習指導要領改定にむけたカリキュラム・オーバード、ジェンダー平等にむけた選択的夫婦別姓の実現など、厳しい状況にある課題についても、引き続き訴えていく。

学校現場を 取り巻く状況

兵教組が実施した教職員未配置状況調査では、5月1日時点・113人、9月1日時点・151人、1月7日時点・161人と、学期が進行するともに未配置が拡大していることがあきらかとなった。学級担任の未配置を避けるため、加配教員が学級担任を務めた結果、加配教員の未配置が広がっている。

そのような中、1月1日より改正給特法の一部が施行された。約50年ぶりに教職調整額が4%から段階的に引き上がるが、長時間労働の実態とはかけ離れており、労基法と給特法の違いが改めて明確となった。従来から訴えている給特法の廃止・抜本的見直しをもとめていく必要がある。4月には、時間外勤務を2029年度までに月平均30時間程度まで減らすことを目標に、業務量管理・健康確保措置の策定や、公立中学校の35人学級等、法律に盛り込まれた事項が施行される予定である。衆議院解散総選挙が突然おこなわれたことにより、3月31日までに来年度予算案の成立が見通せない中、公立中学校の35人学級や少数職種の配置拡

過去最多となっている。兵庫県内では過去10年間で初めて前年度を下回ったものの、高止まりの状況にある。貧困、虐待、自死など人権に関わる課題も深刻さを増す中、子どもが学校園・地域・家庭に自分の「居場所」を見つけにくくなっていることが危惧される。第75次県教研・全体会の教育シンポジウムでは「子どもの権利条約」の基本的な考え方を再確認し、すべての学校園で子どもが安心して学べる教育活動を展開できるよう、参加者全体で共有した。

資料を公表している段階だが、先月開催された人権教育ひょうごの春季学習会で、県教研でもシンポジウムとして登壇いただいた皆我弁護士らの講演「共同親権制度のポイントと留意点をオンデマンド配信している。地域組合・分会において管理職にも呼びかけ、視聴を広げたい。引き続き、すべての子どもに寄り添う学校園づくりにとりくんでいく。

政策・制度要求実現

自民党単独で衆議院の2/3以上の議席となったことを受け、高市首相の発言などから、非核三原則や防衛装備移転三原則の見直し、憲法改正にむけた動きが加速する懸念がある。輿石東・元日政連会長の「平和と教育の危機は同時にやってくる」という言葉を、危機感とともに共有したい。

組織拡大・強化

兵教組・各地域組合は、年度当初から新規採用教職員・過年度未加入者の全員加入、役職定年者の組合復帰にむけ、「地域組合のつながりを深め学び合う」とりくみで得た実践を生かし、更新した「アクションプラン」をもとに節目ごとに加入状況を確認してきた。県教研をはじめとする教研活動や、駐車場等の利用に対する通期手当の引き上げなど対県確定闘争の成

果周知と一体にとりくみをすすめた結果、新規採用教職員・過年度未加入者の加入、役職定年による復帰者の合計は昨年度を上回った。

しかし、採用者数が昨年度より増となったことからも、加入率は低下している。運動の基盤は組織力であり、財政力である。年度末・年度初めにむけ、今年度新規採用教職員・過年度未加入者、ならびに2026年度新規採用教職員の加入促進を強化したい。あわせて、

結び

兵教組は、引き続き「参加・提言・改革」の運動のもと、各地域組合・分会・専門部の皆さんと連携し、教育研究活動の充実、教育予算の拡充、教職員の生活改善、協力・協働の関係が深まる職場づくり、組織の拡大・強化に先頭に立ち、とりくむ決意である。

梶原貴 日教組中央執行委員長

梶原貴日教組中央執行委員長より来賓のあいさつがあった。

「混沌とした世界情勢の中、本来大切であるはずの日本の平和へのとりくみに反し、政権は憲法「改正」、さらに非核三原則や防衛装備移転三原則の見直しにも言及している。私たちは平和への決意を決して変えることなく「教え子」を再び戦



場を送るな!」のローカルなものと、平和へのとりくみをすすめていく。一方で働き方改革については、4月1日からどうなるのか、未配置の問題は解消されるのかと、不安を抱えている方も多いと思う。私たちは、給特法の廃止または抜本的見直しの旗を上げるつもりはない。あわせて4月から業務量管理・健康確保措置がスタートする中、12月におこなったWeb調査で、学校現場の勤務記録が正確に記録されていない実態が浮き彫りになった。まず正確な勤務記録をつけることが働き方改革の第一歩であり、管理職も含めて徹底にむけ強化していく。また、予算審議が遅れる中でも、中学校の35人学級に係る義務標準法改正や、高校授業料無償化、学校給食費無償化に係る予算措置について、自治体や現場が混乱しないよう意見反映にとりくむ。さらに、不登校やいじめの認知件数、子どもの命や人権に関わる課題、学習指導要領改定にむけたカリキュラム・オーバード、ジェンダー平等にむけた選択的夫婦別姓の実現など、厳しい状況にある課題についても、引き続き訴えていく。

最後に、組織拡大・強化である。賃上げを前面に押し出し、退職者を上回る加入者を勝ちとるにとりくみをすすめる。内外の課題が山積する時期だからこそ結束を固くし、ともに前にすすんでいく」と述べた。

そのような中、1月1日より改正給特法の一部が施行された。約50年ぶりに教職調整額が4%から段階的に引き上がるが、長時間労働の実態とはかけ離れており、労基法と給特法の違いが改めて明確となった。従来から訴えている給特法の廃止・抜本的見直しをもとめていく必要がある。4月には、時間外勤務を2029年度までに月平均30時間程度まで減らすことを目標に、業務量管理・健康確保措置の策定や、公立中学校の35人学級等、法律に盛り込まれた事項が施行される予定である。衆議院解散総選挙が突然おこなわれたことにより、3月31日までに来年度予算案の成立が見通せない中、公立中学校の35人学級や少数職種の配置拡

2月の第51回衆議院議員総選挙では、みなさんのあたたかいご支援にも関わらず、多くの仲間を失い、痛恨の限りです。

新党「中道改革連合」の結党にもない、参議院中心となった立憲民主党において、私は代表を務めることとなりました。健全な民主主義のためには、与野党が拮抗した議会の中で互いに切磋琢磨していくことが必要です。ここからまた、野党の立て直しのため、仲間とともにがんばっていかなくてはなりません。



兵政連会長・参議院議員 みずおか俊一さん

「第51回衆議院選挙を終えて」

特別国会が始まりましたが、解散総選挙の影響により、来年度予算案の審議が遅れています。与野党は数の力で、過去にないほど強引な国会運営をおこなっており、まさに議会制民主主義の危機的状況です。衆議院での与野党のバランスは大きく変化しましたが、参議院ではまだ与野党は少数のままです。私たち参議院の責任は重大です。今後も兵政連議員と連携しながら、みなさんの声を政府へと届けます。引き続き、みなさんの思いをお寄せください。

みずおか俊一 LINEアカウントはこちら

第39回学校給食を考える集い



2月13日、兵教組栄養教員部は「第39回学校給食を考える集い」をラッセホールで開催し、各地域組合から栄養教員をはじめ、約60人が参加した。



馬場錬成さん

開会行事の後、馬場錬成さん(科学ジャーナリスト・特定非営利活動法人21世紀構想研究会理事長)による「日本の学校給食は世界一になった」と題した講演がおこなわれた。日本の未来を担う子ども達の「食」と「健康」、そして学校給食が果たすべき役割など、広い知見からお話しいただいた。

栄養教員部は、安全・安心でおいしい学校給食の充実と、学校給食を生きた教材として学校における食育推進にとりくんでいる。県内各地で、食物アレルギー対応をはじめ、地域・家庭・保護者と連携した学校給食の重要性がますます高まっている。

参加者感想

・楽しく拝聴することができた。学校給食は世界一という言葉に励みに頑張りたいと思った。
・学校給食における重要性がよくわかった。ぜひ、もつとオープンな形で地域や保護者、自治体職員に講演していただきたいと思った。
・日々のあたり前の業務を見直すきっかけになった。学校給食のよい部分をもつとアピールしていきたいと思う。
・毎日決まった時間に確実に給食に感謝して、食育の進展に寄与できるようにしたいと感じた。



■参加者感想
・親権についての理解が深まったと思う。実際には本当に多種多様なケースバイケースで考えていかないといけない。子どもの利益であるかどうか、判断基準は真っ直ぐにもつておきたい。
・実際にこの事例で悩んでいる組合員がいる中で、ポイントを教えていただける貴重な機会となった。
・制度が開始されたら、学校現場ではさまざまな事例が発生し、混乱しかねない。そのような場合、

・食育のキーワードは「つながり」であると感じている。今日は現場にいるわれわれが嬉しく報われるお話が聞けてよかった。
・講座Iでは、元学校参事の尾山光一さんによる講演がおこなわれ、組合が要望することを実現できた兵庫の事務職員研修制度の歴史や組合活動の重要性、兵教

check
春季学習会の様子が
二次元コードより
ご覧いただけます

3月8日に執行された洲本市議会議員選挙で、兵政連議員候補のなげいし真知さんが激戦を制し、初当選を果たした。
「未来へつなぐ、誇れる洲本市へ」との想いで立候補し、学校現場の声を市政に届ける決意で挑んだ今回の選挙は、16の定数を28人の立候補者が争う厳しいものとなった。
投票率は61.11%。なげいしさんは、1,445票を獲得し、初当選した。当選を果たしたなげいしさんの声を掲載する。

なげいし真知さんの声
子どものために何とかなしたいとずっと思っていたが、ようやくスタートラインに立つことができた。これも皆様のおかげだと思っっている。思い立つのが遅かったにもかかわらず、これだけの票を取らせていただいた。さまざまな方々に本当に感謝申し上げます。皆さんからいただいた力を生かして、議会では活躍していきたい。子どもたちを

公式サイト・SNSはこちら
公式サイト
X (旧 Twitter)

洲本市議会議員選挙

なげいし真知さん 初当選!

まさとも

にしたいと感じた。
・栄養教員以外の学校給食への思いを知ることができ、とても勉強になった。講演の中で食育科という言葉が出てきたが、教科化すると食育の意義も伝わると思う。
・日本の学校給食のすばらしさについて考える機会になった。献立の工夫について、考えられた栄養教員さんの努力と熱意に頭が下がる思いとともに、毎日の温かい食事のありがたさについても考える機会となった。

第17回 青年事務職員実践講座

2月20日、ラッセホールで第17回青年事務職員実践講座が開催され、県内各地域組合の事務職員約40人が参加した。
事務職員部では、若い世代間での交流をおこない、先輩事務職員の現場実践や事務職員部運動を学ぶとくみとして、毎年、この講座を実施している。あわせて次世代の事務職員部を担うリーダーを育成するとともに、青年事務職員としての力量を高める目的で開催している。
講座Iでは、元学校参事の尾山光一さんによる講演がおこなわれ、組合が要望することを実現できた兵庫の事務職員研修制度の歴史や組合活動の重要性、兵教

参加者感想

講座I
・研修制度の確立、義務教育費国庫負担金などについて、改めて話を聞くことができてよかった。貴重なお話を聞けてありがたかった。組合の大切さ、運動の大切さを改めて感じた。
・これまでの組合活動について学び、今ある研修制度はあたり前ではなく、とても恵まれている環境であることを知った。

講座II

・違う地域組合の方のお話を聞くことができ、地域ごとの違いを知った。
・悩みだけでなく、各学校のとりくみをたくさん聞けたのでよかった。
・文書管理やサービスの電子化など市町によって様々な方法がおこなわれていることを知り、自分の学校にも取り入れられることはないか考えることができた。

あんしん むすぶ 教職員共済

https://www.kyousyokuin

「補償は見直しが大切です」

ご自宅の補償を見直しませんか？
こんな方は特に見直しをオススメします！
今、加入している保険(共済)について

- 01 保険料(掛金)が値上がりした
- 02 住宅ローンが完済となり満期がくる
- 03 加入したときのままほったらかしにしている

この機会に「教職員共済」へご相談ください！

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

お問い合わせもお気軽にどうぞ！
詳しくはこちら！

資料請求・お問い合わせ
厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 4-10-8 ラッセホール 4F
TEL:078-221-9730 [平日 9:00~17:30]

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。